



## 主要な農作物の生育情報

平成27年度 第9号

(平成27年12月2日)

福島県農林水産部農業振興課



### 【野菜】

#### 1 秋冬にら

生育の順調なほ場では、2年株の収穫が平年並の11月上旬から始まりました。また、1年株のビニル被覆は平年並の11月中旬から12月上旬に行われ、1年株は12月上旬から中旬にかけて収穫される見込みです。

病害虫の発生は、白斑葉枯病及びアザミウマ類が散見されますが、全体的に少ない状況です。

#### 2 いちご

促成栽培は概ね良好に生育しています。収穫は生育の早いほ場で11月上中旬から始まり、今後は収穫量が増加する見込みです。

病害虫の発生は、ほ場によってハダニ類が多発生しているため注意が必要です。

#### 3 秋冬ねぎ

いわき地方では10月から11月の好天により順調に生育し、生育の早いほ場では11月上旬から収穫が行われました。多くのほ場では収穫が11月下旬から始まり、今後は収穫量が増加する見込みです。

病害虫は、一部ほ場でさび病が発生しています。

#### 4 水耕栽培トマト

いわき地方の水耕栽培は、収穫が早いほ場で平年並の9月下旬から始まり、10月中旬には出荷が出そろいました。11月以降は、順調に生育しており着果、肥大ともに良好です。

病害虫は、気温の低下とともに一部ほ場でうどんこ病、灰色かび病などが発生しています。

### 【果樹】

#### 1 りんご（果樹研究所）

「ふじ」の収穫盛期は平年より3日早く、収穫果の一果重は331gで平年よりやや小さい状況でした。また、糖度は15.6度で平年よりやや高く着色も良好でしたが、蜜入り指数は1.7で平年より低い状況でした。

なお、外部裂果（つる割れ）の発生率は、12.7%で平年よりやや少ない状況でした。

花芽分化率は「つがる」が96.3%（平年比121.4%）で平年より高く、「ふじ」が64.2%（平年比91.5%）で平年より低い状況です。

#### 2 なし（果樹研究所）

予備枝新梢の腋花芽の花芽分化率は、「幸水」が58.3%（平年比110.8%）、「豊水」が68.3%（平年比109.1%）で、各々平年より高い状況です。

### 【花き】

#### 1 シクラメン

概ね順調に生育しています。出荷は、平年よりやや早い10月下旬から始まり、11月下旬から最盛期を迎えています。

#### 2 ストック

会津地方の年内出荷（7月下旬から8月上旬播種、8月中旬から下旬定植）の作型は、概ね順調に生育しています。出荷は盛期を迎えており、12月下旬まで続く見込みです。

© 病害虫の発生状況や防除情報については、病害虫発生予察情報（ホームページ <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37200b/>）等を活用し、適切に対応しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL(024)521-7339

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/nogyo-nousin-gijyutu03.html#seiikujoyouhou>